

# 北方領土問題について

佐賀県 みやき町立北茂安中学校

# あなたは北方領土についてどれくらい知っていますか？

## 北方領土とは

北方領土とは、北海道根室市の納沙布岬につらなる歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の四つの島々のことをいふ。

北方領土の面積は五〇三km<sup>2</sup>で、このうち択捉島は沖繩本島や東京府、大阪府よりもずっと広く、日本で最も大きな島となっている。



北方領土は、島によって地形がちがっていて、大昔は根室半島と陸続きだった歯舞群島、色丹島はゆるやかな丘陵地、か多く国後島、択捉島は高い山が連なっており地形も富んでいる。気候は海の影響を受け、冬も比較的暖かく、雪の量も多くない。



動植物の多くは北海道と共通しているが、エトピリカ、エゾライチョウ、オジロワシなど珍しい鳥も多く見かけられる。

## 北方領土の歴史

北方領土は最初、松前藩に支配されていた。江戸幕府は諸藩に命じて「正保御国移封」を作ったが、それには「くなしり」「えとろほ」「うらふ」などの島名がつけられていた。

一七六六年から最上徳内や近藤重蔵らは国後島をはじめ、択捉島に渡り、島々の実地調査を行った。

一七九八年、近藤重蔵らは、択捉島に「大日本東登呂府」と書いた標柱を建立した。高田厚嘉兵衛が自分の持ち船「辰悦丸」で国後島と択捉島の間を航行を開き、択捉島に漁場を開いたのも、この頃。

一八五五年、日露通好条約という条約をロシアと結んだ。一八七五年には、樺太千島交換条約で日本は千島列島をロシアから譲り受け、かわりに樺太全体を放棄した。そして一九〇五年に日露戦争の結果、北緯五〇度以南の南樺太が日本の領土となった。

一九四五年、ソ連軍は終戦を迎えた北方領土に上陸してきた。元島民の方によると銃を持って二人で入って来て、武器を持っていないか、日本兵をかくまっていたか確認をしたそうだが、それで「時計を持っていないか」と全ての家にまわったという。根室をめぐって島から脱出し根室に

つくと、空襲で焼けていたため、住む家も、食べ物もなかったそう。

## 今後どうしていけばよいのか

私たちはこのことをうけてどうすればよいのか。実際に行われているびざなし訪問や日本にロシア人が来たり、イベントなどでの署名活動を行ったりといういろいろなことが行われていることが分かる。他にも北方領土についてももう少し詳しく学ぶ、ということも私は立派なことだと思ふ。調べることによって、北方領土に興味をもつことが大切だと感じようからいいと思う。

あなたもぜひ北方領土についても、とくわしく学んでみて下さい。

## マメ知識

一七九二年、ラクスマンが根室に来航したとき、スケートがスポーツとして伝わってきた。

## 感心相

北方領土に住んでいた元島民の平均年齢は八十四歳になっていて、このような体験をした方も少なくなくなっている。このことを後世に伝えることがどんなに難しく、そして、解決も困難になるのではないかと感じる。しかし若い人たちが興味をもつことにより国が動いてくれるときがくるかもしれない。北方領土までの距離がそう遠くないことを家族や友人に教えたいと思う。

